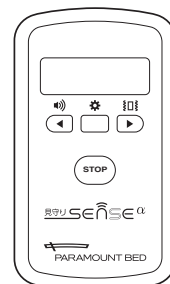
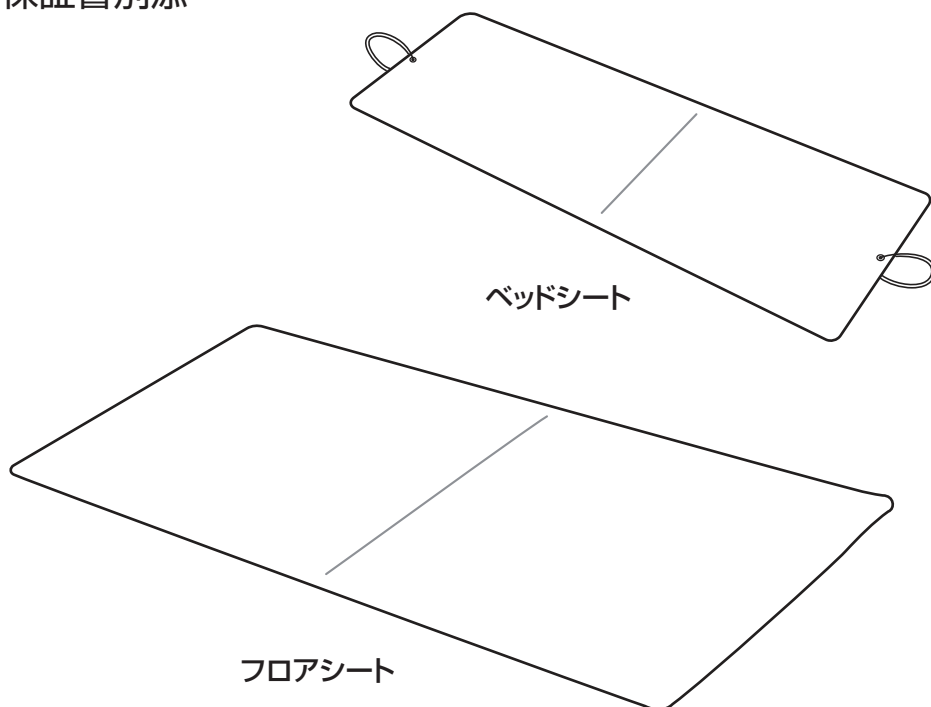


取扱説明書

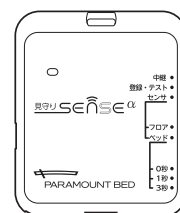
見守りSENSE^α

NN-3001 シリーズ

7F10977800A3
保証書別添



受信機



送信機

まえがき

このたびは見守りSENSE^α (以下、見守りSENSE) をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、見守りSENSEを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- 見守りSENSEをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- 見守りSENSEを使用する方ばかりでなく、付き添いの方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- この製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 見守りSENSEは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

もくじ

1 使用目的・特長	2
2 部品の確認	3
3 各部の名称	4~5
4 安全に使用するための注意事項	6~8
5 見守りSENSEについて	9~10
6 設定方法	11~17
7 設置方法	18~22
8 設置後の点検方法	22
9 使用方法	23~24
10 オプションについて.....	25
11 日常の点検とお手入れ	26
12 長期保管と廃棄について	27
13 故障かな?と思ったら	28
14 仕様	29
15 アフターサービスについて.....	30

1 使用目的・特長

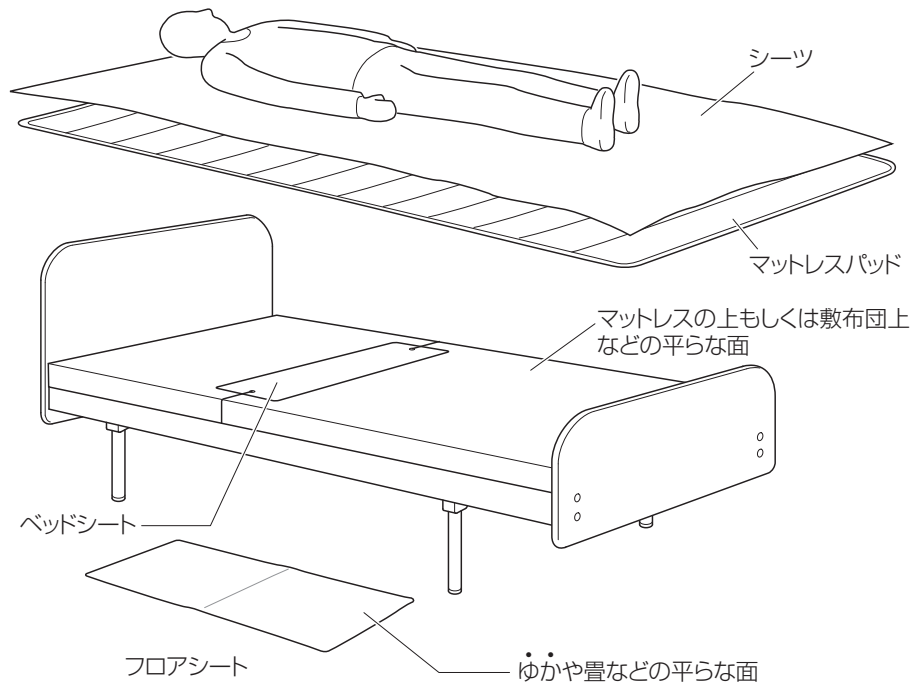
※本取扱説明書では、見守りSENSE (NN-3121・NN-3221) をベースに説明しています。

■使用目的

- 見守りSENSE (ベッドタイプ) は、ベッド上での使用者の起きあがりを検知し、受信機に通知することを目的に作られています。
- 見守りSENSE (フロアタイプ) は、使用者のベッドからの離床または特定の場所 (居室の入口、トイレ、玄関など) への移動を検知し、受信機に通知することを目的に作られています。



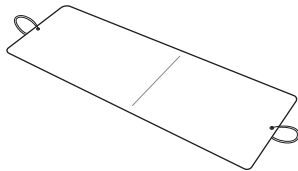
本製品はあくまでも使用者の起きあがり、離床/徘徊を把握するための補助的なシステムであり、使用者の転落・転倒事故などを防ぐことを何ら保証するものではありません。



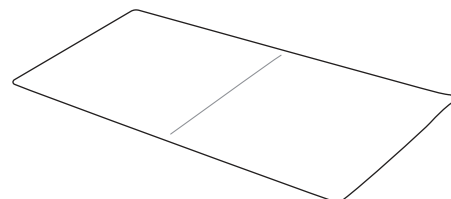
■特長

- 見守りSENSEは、ベッドシート・フロアシートの信号を、受信機に通知することができます。
- 別売のナースコール中継ユニットを使用することで、ご使用中のナースコールに通知することが可能になります。

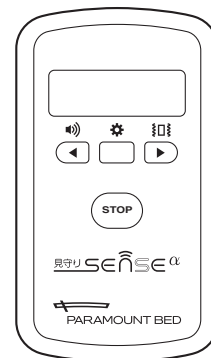
ベッドシート
(送信機内蔵)



フロアシート
(送信機内蔵)



受信機



2 部品の確認

開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までご連絡ください。

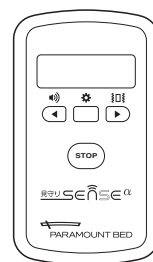
【見守りSENSE (ベッドタイプ)】



ベッドシート×1



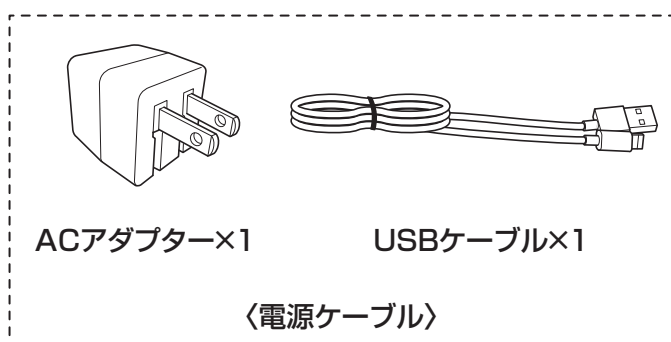
送信機×1



受信機×1



ストラップ×1



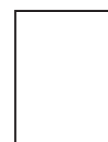
ACアダプター×1

USBケーブル×1

〈電源ケーブル〉



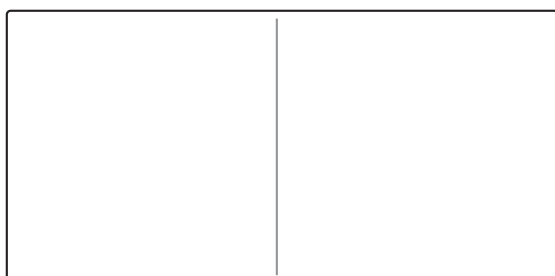
取扱説明書×1



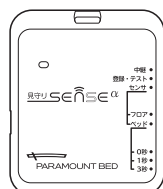
保証書×4

(ベッドシート・送信機・
受信機・電源ケーブル 各1)

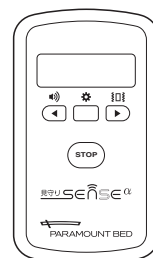
【見守りSENSE (フロアタイプ)】



フロアシート×1



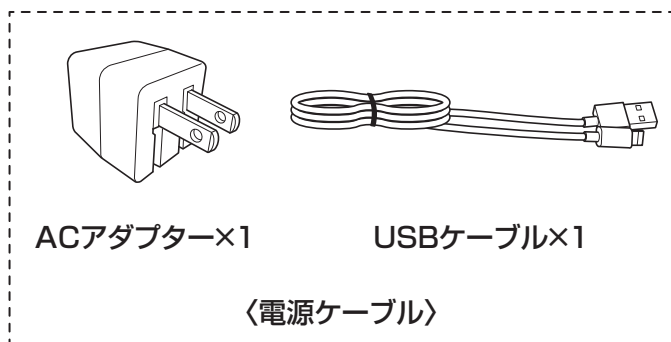
送信機×1



受信機×1



ストラップ×1



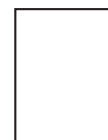
ACアダプター×1

USBケーブル×1

〈電源ケーブル〉



取扱説明書×1



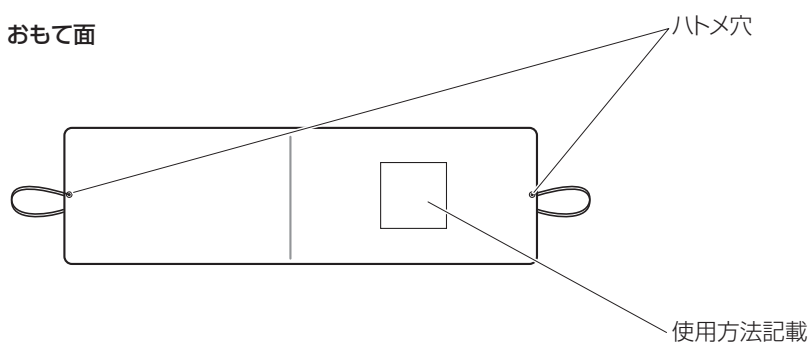
保証書×4

(フロアシート・送信機・
受信機・電源ケーブル 各1)

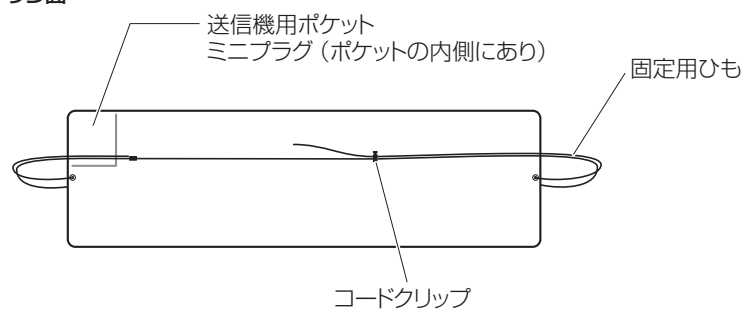
3 各部の名称

【ベッドシート】

おもて面



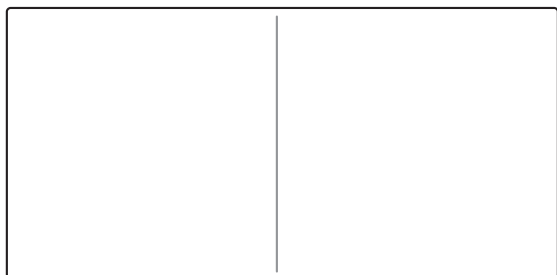
うら面



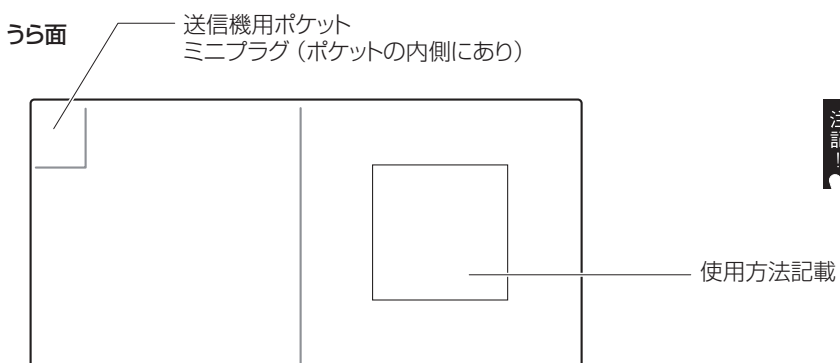
ロットNo.表示ラベルは、送信機用ポケットの内側にあります。

【フロアシート】

おもて面



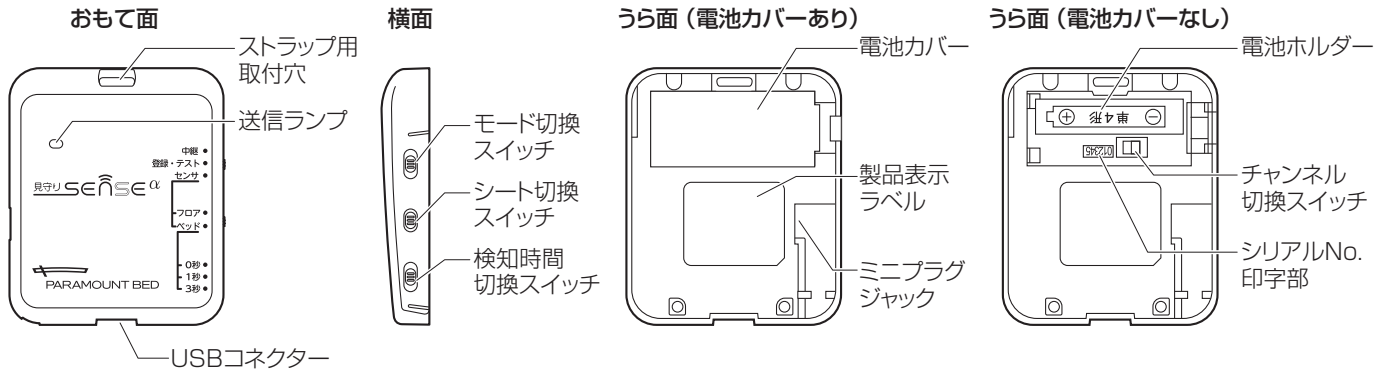
うら面



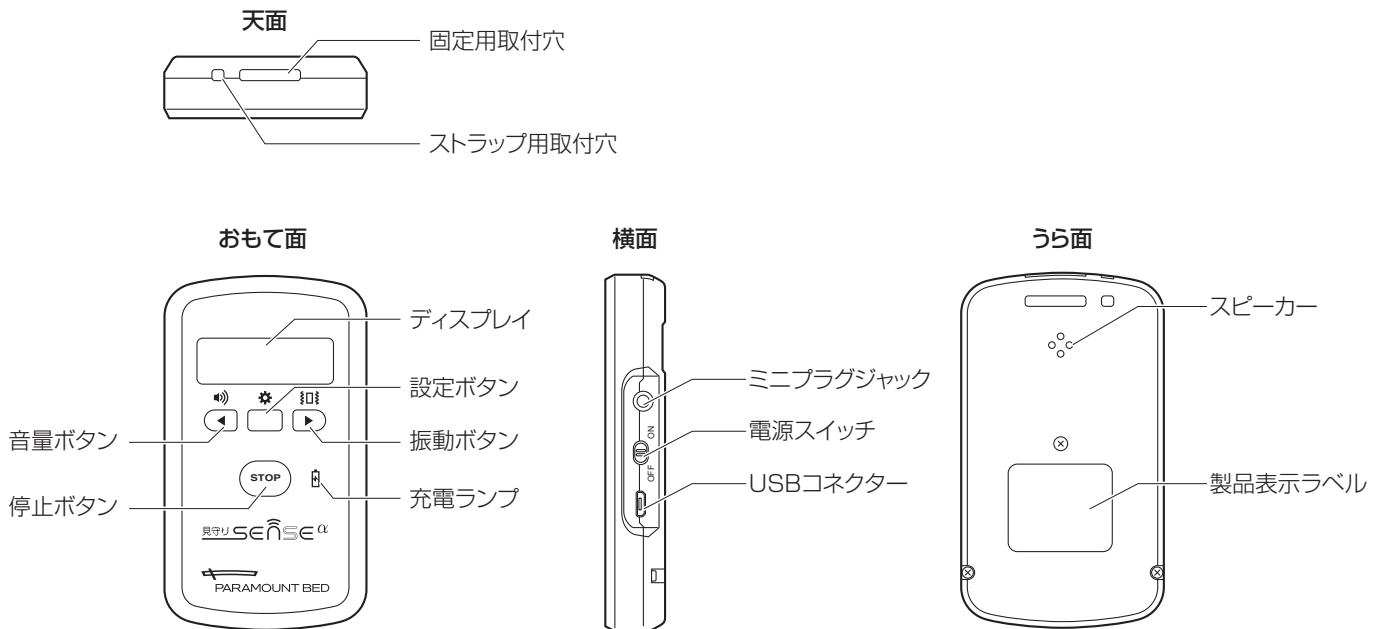
ロットNo.表示ラベルは、送信機用ポケットの内側にあります。

3 各部の名称

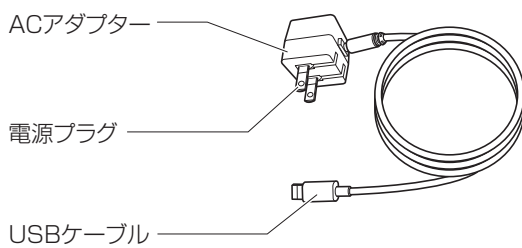
【送信機】



【受信機】





【電源ケーブル】



4 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「△警告」と「△注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺 ^{まひ} など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



■見守り SENSE は、弊社が指定する設置方法で使用してください

- 指定以外の方法で設置したり、ベッドシート・フロアシートを折り曲げて設置したりすると、通知が正しく行われずおそれがあります。

■見守り SENSE を設置した後は、点検を行ってください

- 通知が正しく行われずおそれがあります。
(点検項目は22ページ参照)

■受信機や送信機に水などをこぼさないでください

- ショートして感電したり、故障したりする原因となります。誤ってこぼしてしまった場合には次の対応を行ったうえで、販売店またはパラテクノコールセンター（30ページ参照）までご連絡ください。
 - ・受信機にこぼしてしまった場合は受信機の電源スイッチをOFFにし、電源ケーブルを使用している場合は電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・送信機にこぼしてしまった場合は、送信機の電池を取外す。

■火気に近づけないでください

- 見守りSENSEの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■お客様による分解・修理・改造はしないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■電源ケーブルを傷つけないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■受信機に接続する電源ケーブルは、付属品を使用してください

- 付属品以外の電源ケーブルを使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。

4 安全に使用するための注意事項



■電源プラグに無理な力を加えないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

- ショートして感電・故障のおそれがあります。

■電源プラグにほこりを付着させないでください

- 電源プラグの表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■電池を内蔵する製品の取扱いには十分ご注意ください

- 電池の使いかたを誤ると、電池の破損や液漏れにより火災の原因となるおそれがあります。下記の事項に注意してください。
 - ・送信機の電池は指定以外のものを使用しない
 - ・送信機の電池や、受信機の充電電池を分解しない
 - ・送信機や受信機を長時間使用しなかった場合には、電池が使用できるか確認を行う

■長期間使用しない場合には、安全のため電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください

- 受信機内部の充電電池の破損や液漏れにより、火災の原因となるおそれがあります。

■受信機・送信機を下記のような場所で使用しないでください

- 電波がさえぎられて通知が正しく行われぬおそれがあります。
 - ・鉄製のドアやシャッターの近く
 - ・鉄製の大きな家具の近く
 - ・地下室やガレージ
 - ・鉄筋コンクリートの壁や鉄骨に多く囲まれている場所（階段やエレベーターなど）

■平らな面に設置してください

- 平らでない面に設置すると、通知が正しく行われぬおそれがあります。

■使用者体重に注意してください

- ベッドシート・フロアシートの最大使用者体重は138kgです。138kgを超える方が使用すると、ベッドシート・フロアシートの故障や通知が正しく行われぬおそれがあります。

■ベッドシート・フロアシートの上にものを置かないでください

- 通知が正しく行われぬおそれがあります。

■振動がある環境で使用しないでください

- エアマットレス動作時の振動などがベッドシート・フロアシートに伝わると、通知が正しく行われぬおそれがあります。

■フロアシートはほこりや水分があるゆか面で使用しないでください

- フロアシートが滑り、転倒してけがをするおそれがあります。

警告

■電子治療器を使用するときは各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してからご使用ください

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を同時に使用した場合、見守りSENSEの故障や誤通知、通知が正しく行われないおそれがあります。
- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）が、正しく動作しないおそれがあります。

■ME機器や心臓ペースメーカーと併用する際は、安全を確認してからご使用ください

- 見守りSENSEの故障や誤通知、通知が正しく行われないおそれがあります。
- ME機器や心臓ペースメーカーが、正しく動作しないおそれがあります。

注意

■40℃を超える環境で使用しないでください

- 製品の温度が上昇し、見守りSENSEが故障するおそれがあります。電気カーペットや床暖房、電気毛布などをご使用の場合は、温度に注意してください。

■見守り SENSE を落としたり傷つけたりしないでください

- 破損・変形するおそれがあります。

■保管する際は、下記の事項に注意してください

- 重いものを載せたり、力がかかったりする状態で保管しないでください。見守りSENSEが破損・故障するおそれがあります。
- ベッドシート・フロアシートを折りたたむときは、指定の方法で折りたたんでください。破損・故障するおそれがあります。（折りたたみ方法は27ページ参照）

■スプレータイプの殺虫剤を見守り SENSE に直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、見守りSENSEが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■見守り SENSE は定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により劣化するおそれがあります。定期的に破損の有無などを点検してください。（点検項目は26ページ参照）

■ベッドシート・フロアシートに水をこぼした場合は、すぐに拭き取ってください

- ベッドシート・フロアシートを濡れたままにすると、破損・故障の原因となります。

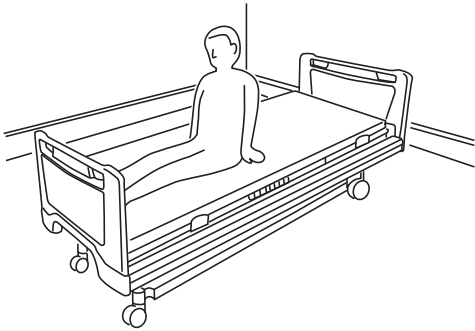
■ベッドシート・フロアシートのミニプラグ接続時・接続後は、送信機のミニプラグジャックに無理な力を加えないでください

- 送信機が破損・故障するおそれがあります。

5 見守りSENSEについて

見守りSENSEは、下記のような使用者の状態を検知し、受信機に通知することができます。

【見守りSENSE(ベッドタイプ)】



起き上がり

使用者がベッド上で起き上がった際に、受信機に通知します。

ユーザー像の一例	<ul style="list-style-type: none">・転落リスクのある方・離床することが危険で早く知りたい方
----------	---

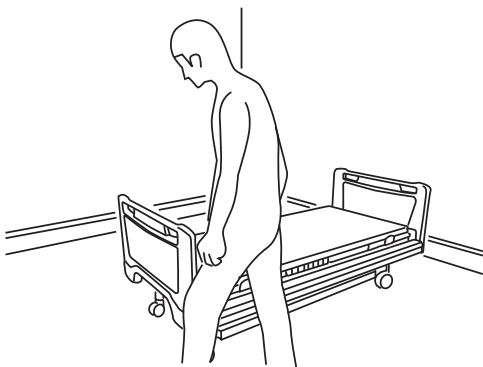
※見守りSENSE(ベッドタイプ)では短時間の起き上がりによる不要な通知を防止するため、一定時間起き上がり状態が持続したら通知するように設定することができます。検知時間は、0秒、1秒、3秒で設定可能です。(設定方法は11ページ参照)

0秒：起き上がった瞬間に検知したい場合

1秒：起きあがって1秒後に検知したい場合

3秒：瞬間的な起きあがりを検知したくない場合

【見守りSENSE(フロアタイプ)】



離床

使用者がベッドから離床した際に、受信機に通知します。

徘徊

使用者が特定の場所(居室の入口、トイレ、玄関など)へ移動した際に、受信機に通知します。

ユーザー像の一例	離床には不安はないが、離床後の目的忘れ、迷子などの不安があり、付き添いを必要とする方
----------	--

■見守り SENSE の通知機能の注意点

- 本製品はあくまでも使用者の起き上がり、離床/徘徊を把握するための補助的なシステムであり、使用者の転落・転倒事故などを防ぐことを何ら保証するものではありません。使用者の動作や寝る位置などによっては、誤通知の可能性や検知できない場合があります。万一発生した事故などによる損害について、弊社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 見守りSENSEを使用するためには、各種設定が必要となります。見守りSENSEを使用するときは、11～17ページの「6. 設定方法」を参照して、正しく通知することを確認してから使用してください。
- 通知しないなどの異常時は、見守りSENSEの使用を中止し、28ページの「13. 故障かな?と思ったら」を参照して、チェック・処置をしてください。

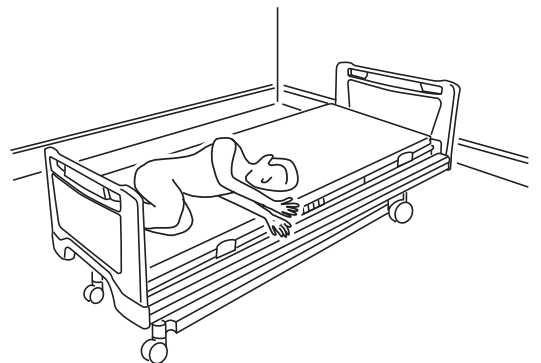


■ベッド動作中（背あげ）はベッドシートの通知を正しく行えません。ベッドシートを使用するときは、ベッドが停止した状態で使用してください

- 通知が正しく行われないおそれがあります。

■見守り SENSE を使用するときは、11～17ページの「6. 設定方法」を参照して、各種設定を正しく行ってください

- 正しく設定されないと、検知できず通知されないおそれがあります。また、正しく設定していても下記状況などによっては、検知できずに通知されないおそれがあります。
 - ・ベッドシート・フロアシート上に重いもの（20kg程度）を載せたまま、使用者が起き上がり・離床/徘徊の動作をした場合
 - ・使用者がベッドの足側に寝ていて起き上がった場合（ベッドシート）



<誤通知について>



- 見守りSENSEを使用するときは、各種設定を正しく行ってください。正しく設定されないと誤通知の可能性がります。また、正しく設定をしていても使用者の動作や寝る位置などによっては、誤通知の可能性がります。
 - ・使用者以外の方がベッドシート・フロアシートに乗り降りした場合
 - ・使用者が寝返りなどでベッドの足側にずれた場合（ベッドシート）
- ベッドシートは、背の角度が大きくなるほど、使用者が起きあがらなくてもわずかな動作で通知する可能性が高くなります。

6 設定方法

■受信機の各設定について

受信機の各ボタンを長押し（2秒）することで、下記の設定が行えます。

ボタン	設定内容	説明	記載ページ	
音量ボタン	音量設定	受信機の音量設定（OFF、小、大）を行う	12	
振動ボタン	振動設定	受信機の振動設定（OFF、ON）を行う	12	
設定ボタン	登録	受信機に送信機の新規登録を行う	13～14	
	変更	受信機に登録された送信機の設定変更を行う	15	
	削除	受信機に登録された送信機の削除を行う	16	
	パラメータ	チャンネル	受信機のチャンネルを設定する	12
		初期化	受信機を初期状態に戻す	17
	テスト	受信機と送信機の通信距離の確認を行う	17	

■送信機の各設定について

送信機の各切換スイッチを切換えることで、下記の設定が行えます。

切換スイッチ	設定内容	説明	記載ページ
モード切換スイッチ	登録・テスト	送信機の登録・変更・削除を行う	13～17
		送信機の通信距離の確認を行う	17
	中継	送信機を中継モードとして使用する	25
	センサ	送信機をセンサに接続して使用する	18
シート切換スイッチ	フロア	送信機をフロアシートに接続して使用する	18
	ベッド	送信機をベッドシートに接続して使用する	18
検知時間切換スイッチ	0秒	ベッドシートの検知時間を0秒に設定する	18
	1秒	ベッドシートの検知時間を1秒に設定する	18
	3秒	ベッドシートの検知時間を3秒に設定する	18
チャンネル切換スイッチ	1	送信機のチャンネルを1に設定する。	12
	2	送信機のチャンネルを2に設定する。	12
	3	送信機のチャンネルを3に設定する。	12

■受信機の準備

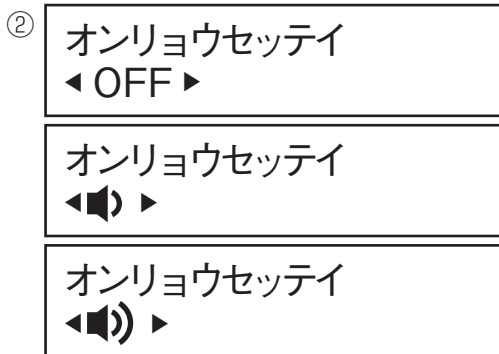
- ①USBケーブルをACアダプターに接続してください。
 - ②USBケーブルを受信機のUSBコネクタに接続してください。
 - ③ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、充電（5時間）をしてください。
- ※受信機の充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。



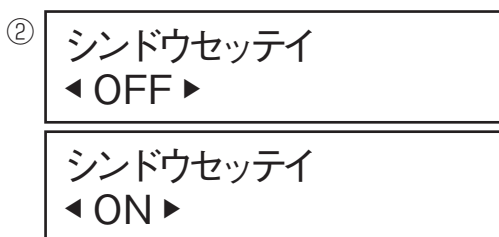
- 長時間使用しなかったとき、充電と使用を何度か繰り返すことにより、十分充電される場合があります。
- 受信機は電源ケーブルを接続したままでもお使いいただけます。

■送信機の準備

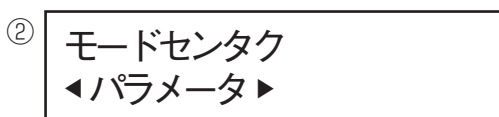
送信機の電池カバーを取外し、電池の極性に注意して、電池を入れてください。



音量設定画面



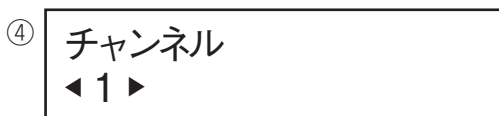
振動設定画面



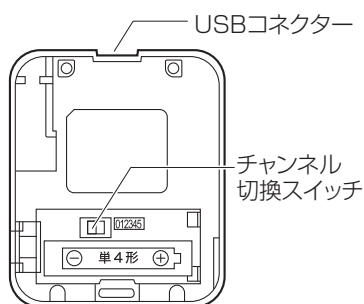
モード選択画面



パラメータ設定画面



チャンネル設定画面



送信機うら面

(USBコネクターが
上にくるようにしてご覧ください)

■受信機の通知設定

●音量の設定

- ①受信機の音量ボタンを長押し（2秒）して、音量設定画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、音量（OFF、（小）、（大））を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が待受画面に移行し、音量の設定が完了します。

●振動の設定

- ①受信機の振動ボタンを長押し（2秒）して、振動設定画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、振動（OFF、ON）を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が待受画面に移行し、振動の設定が完了します。

■受信機・送信機のチャンネル設定

使用する受信機と送信機はチャンネル設定を合わせてください。

●受信機のチャンネル設定

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「パラメータ」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し、「チャンネル」を選択して設定ボタンを押してください。
- ④チャンネル設定は「1」～「3」の番号で設定します。
音量ボタン／振動ボタンを押し、一緒に使用する送信機と同じチャンネル番号を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑤画面が待受画面に移行し、受信機のチャンネル設定が完了します。

●送信機のチャンネル設定

- ①送信機の電池カバーを開けてください。
- ②チャンネル切換スイッチで「1」～「3」の番号で設定します。
一緒に使用する受信機と同じチャンネル番号を選択してください。

※送信機のチャンネル番号の対応は下記の表をご確認ください。

チャンネル番号	1	2	3
チャンネル 切換スイッチ			

6 設定方法

■送信機の登録・変更・削除について



- 受信機には送信機を80台まで登録できます。
- 送信機ごとに、通知時に受信機に表示される文字を、登録・編集することができます。
- 送信機の登録・変更・削除を行う場合は、受信機と送信機が近くにある状態（50cm以内）で行ってください。
- 受信機の操作が20秒間行われないうち、ディスプレイを消灯します。設定途中の内容は登録されませんのでご注意ください。
- 送信機の登録・変更・削除中に通知があった場合は、設定変更を中断し通知を優先します。設定途中の内容は登録されませんのでご注意ください。
- 送信機の登録・変更・削除中に受信機の停止ボタンを押すと、設定操作をキャンセルし、待受画面に戻ります。
- 受信機とパソコンをUSBケーブルで接続し、専用ソフトウェア（NN-C300）を使用することで、パソコンから送信機の登録・変更・削除を行えます。専用ソフトウェア（NN-C300）のダウンロードおよび使用方法につきましては、弊社ホームページ（<http://www.paramount.co.jp/sense/download>）をご覧ください。※通信料はお客様のご負担となります。
- 送信機の登録・変更・削除は、送信機をベッドシート・フロアシートから取外した状態で行ってください。送信機は、ベッドシート・フロアシートに接続してある状態で、切換スイッチが意図せず切換わっても設定が維持される仕様になっています。

② モードセンタク
◀ トウロク ▶

モード選択画面

④ トウロクチュウ
12345678

送信機シリアルNo.表示画面

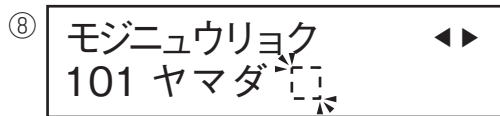
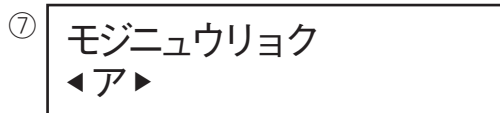
⑤ モジニューリョク ◀▶
[A] [a] [Z] [z]

⑥ モジニューリョク
◀カタカナ▶

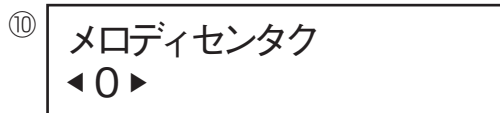
文字入力画面

■送信機の登録

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「トウロク」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「トウロクチュウ」となっていることを確認した後、登録したい送信機のモード切換スイッチを「登録・テスト」にしてください。
※送信機がベッドシート・フロアシートに接続されている場合は、送信機をベッドシート・フロアシートから取外してください。
- ④受信機が送信機からの信号を受取ると、送信機のシリアルNo.が表示されますので、登録したい送信機のシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押してください。
※既に登録されている送信機を登録しようとした場合、ディスプレイに「トウロクズミ」と表示されます。
- ⑤画面が「モジニューリョク」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し文字を入力したい場所を選択し、設定ボタンを押してください。
- ⑥音量ボタン／振動ボタンを押し、「カタカナ」「キゴウ」「スウジ」「サクジョ」「シュウリョウ」を選択して設定ボタンを押してください。
カタカナ : 「ア」から「ン」までの文字を入力します。
キゴウ : 「a」から「z」、「A」から「Z」までの文字を入力します。
スウジ : 「0」から「9」までの文字を入力します。
サクジョ : 選択した場所の文字を削除します。
シュウリョウ : 文字入力を終了します。



文字入力画面



メロディ選択画面

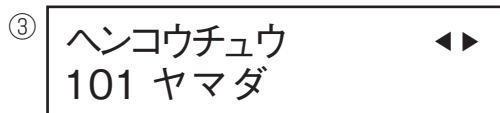
- ⑦ 音量ボタン／振動ボタンを押し、入力したい文字を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑧ 複数の文字を入力する場合は、⑤～⑦を繰り返し行ってください。
- ⑨ 文字入力終了したら、「シュウリョウ」を選択し、設定ボタンを押してください。
- ⑩ 画面が「メロディセンタク」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し鳴動させるメロディを選択し、設定ボタンを押してください。
- ⑪ 画面が待受画面に移行し、送信機の登録が完了します。

番号	曲名
0	カノン
1	きらきら星
2	ノクターン
3	ボレロ
4	メヌエット
5	愛の挨拶
6	愛の夢
7	乾杯の歌
8	電子音1 (ピピピピッ)
9	電子音2 (ピンポンパンポン)

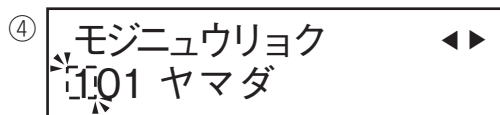
6 設定方法



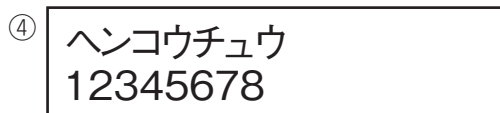
モード選択画面



変更画面



文字入力画面



送信機シリアルNo.表示画面

■送信機の通知表示・メロディ変更

●受信機のみで変更を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「ヘンコウ」を選択して設定ボタンを押してください。

- ③画面が「ヘンコウチュウ」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し、変更したい送信機を選択し、設定ボタンを押してください。

※変更画面には、「■送信機の登録」で入力した文字が表示されます。

- ④「■送信機の登録」の⑤～⑩の手順に従って、通知表示・メロディの変更を行ってください。

- ⑤画面が待受画面に移行し、送信機の通知表示・メロディ変更が完了します。

●受信機と送信機で変更を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。

- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「ヘンコウ」を選択して設定ボタンを押してください。

- ③画面が「ヘンコウチュウ」となっていることを確認した後、変更したい送信機のモード切換スイッチを「登録・テスト」にしてください。

※送信機がベッドシート・フロアシートに接続されている場合は、送信機をベッドシート・フロアシートから取り外してください。

- ④受信機が送信機からの信号を受取ると、送信機のシリアルNo.が表示されますので、変更したい送信機のシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押してください。

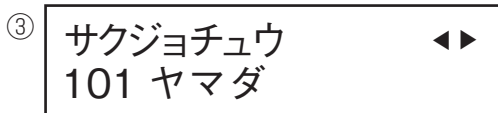
※登録されていない送信機を変更しようとした場合、ディスプレイに「ミトウロク」と表示されます。

- ⑤「■送信機の登録」の⑤～⑩の手順に従って、通知表示・メロディの変更を行ってください。

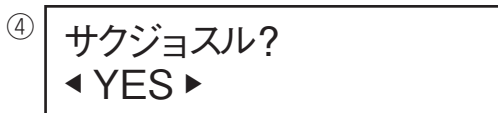
- ⑥画面が待受画面に移行し、送信機の通知表示・メロディ変更が完了します。



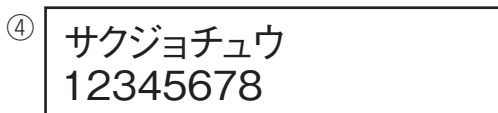
モード選択画面



削除画面



削除確認画面



送信機シリアルNo.表示画面

■送信機の登録削除

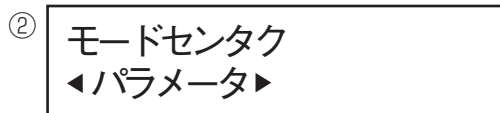
●受信機のみで登録削除を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「サクジョ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「サクジョチュウ」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し、登録削除したい送信機を選択し、設定ボタンを押してください。
※削除画面には、「■送信機の登録」で入力した文字が表示されます。
- ④「サクジョスル？」の確認メッセージが表示されるので、音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑤画面が待受画面に移行し、送信機の登録削除が完了します。

●受信機と送信機で登録削除を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「サクジョ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「サクジョチュウ」となっていることを確認した後、登録削除したい送信機のモード切替スイッチを「登録・テスト」にしてください。
※送信機がベッドシート・フロアシートに接続されている場合は、送信機をベッドシート・フロアシートから取外してください。
- ④受信機が送信機からの信号を受取ると、送信機のシリアルNo.が表示されますので、登録削除したい送信機のシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押してください。
※登録されていない送信機を削除しようとした場合、ディスプレイに「ミトウロク」と表示されます。
- ⑤「サクジョスル？」の確認メッセージが表示されるので、音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑥画面が待受画面に移行し、送信機の登録削除が完了します。

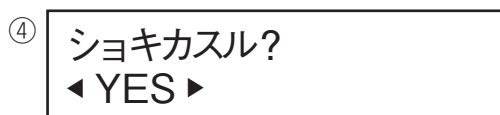
6 設定方法



モード選択画面



パラメータ設定画面



受信機初期化画面

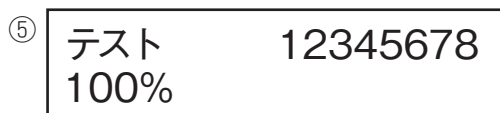
■受信機の初期化

受信機に登録されている送信機と履歴を初期化します。

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「パラメータ」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し、「ショキカ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ④「ショキカスル？」の確認メッセージが表示されるので、音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑤画面が待受画面に移行し、受信機の初期化が完了します。



モード選択画面



通信距離確認画面

■受信機・送信機の通信距離確認

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「テスト」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「テスト」となっていることを確認した後、通信距離の確認を行いたい送信機のモード切換スイッチを「登録・テスト」にしてください。
※送信機がベッドシート・フロアシートに接続されている場合は、送信機をベッドシート・フロアシートから取り外してください。
- ④ベッドシート・フロアシートを設置したい位置に送信機を置いてください。
- ⑤受信機が送信機からの信号を受取ると、受信機のディスプレイに通信強度（10%～100%）が表示されます。
※通信強度は10%に近づくほど弱くなり、100%に近づくほど強くなります。
- ⑥受信機のディスプレイに通信強度が表示されている間は送信機との通信が行われています。送信機からの信号を受取れなくなると、通信強度の表示は消えます。
- ⑦通信距離確認を終了する場合は、受信機の停止ボタンを押してください。画面が待受画面に移行し、通信距離確認が終了します。

7 設置方法

■設置面

●ベッドシート

- ・ マットレスの上もしくは、敷布団上などの平らな面

●フロアシート

- ・ ゆかや畳などの平らな面

■設置場所の温度

使用環境外の温度にならない場所

■送信機の設置



送信機の登録・変更・削除は、送信機をベッドシート・フロアシートから取外した状態で行ってください。送信機は、ベッドシート・フロアシートに接続してある状態で、切換スイッチが意図せず切換わっても、設定が維持される仕様になっています。

- ①送信機のモード切換スイッチを「センサ」にしてください。
- ②送信機を接続するシートの種類にあわせて、シート切換スイッチを切換えてください。
 - ・ ベッドシートの場合は、シート切換スイッチを「ベッド」にしてください。
 - ・ フロアシートの場合は、シート切換スイッチを「フロア」にしてください。
- ③シート切換スイッチを「ベッド」にした場合は、検知時間切換スイッチを設定してください。
- ④ベッドシート・フロアシートうら面の送信機用ポケットからミニプラグを取出し、送信機のミニプラグジャックに接続してください。

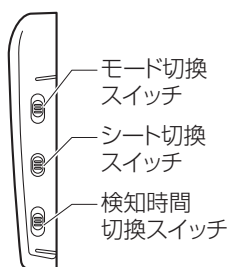


送信機のミニプラグジャックにミニプラグを接続する際は、ミニプラグをまっすぐにして接続してください。

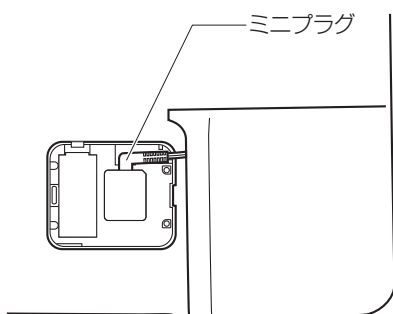


ちゅうい
注意

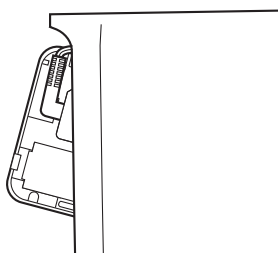
接続時・接続後、送信機のミニプラグジャックに無理な力を加えないでください。送信機が破損・故障するおそれがあります。



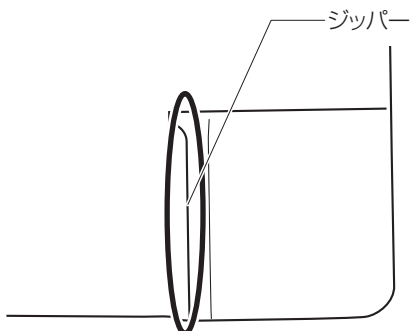
④ミニプラグを送信機に接続する



⑤送信機を送信機用ポケットに入れる



⑥送信機用ポケットのジッパーを閉める



- ⑤ベッドシートは押して離すと、フロアシートは押すと、送信機の送信ランプが点灯（緑）することを確認し、送信機をベッドシート・フロアシートの送信機用ポケットに収納してください。
- ⑥ベッドシート・フロアシートの送信機用ポケットのジッパーを「パチッ」と音が鳴るまで閉めて、密閉してください。

7 設置方法

■ベッドシートの設置



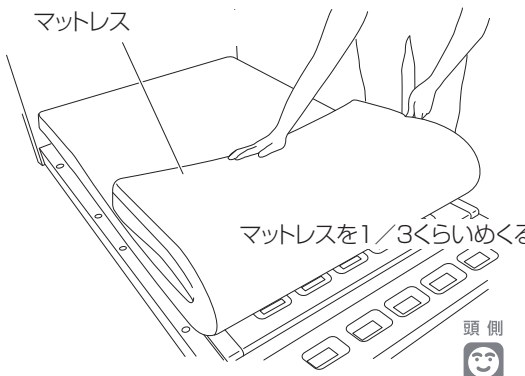
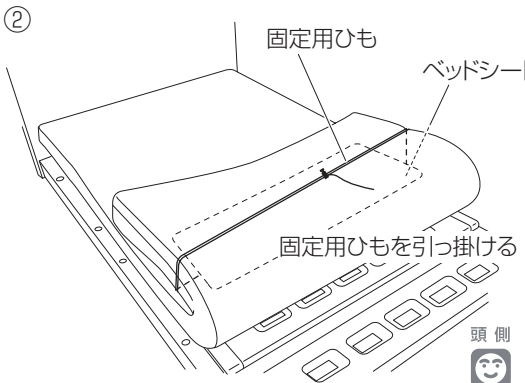
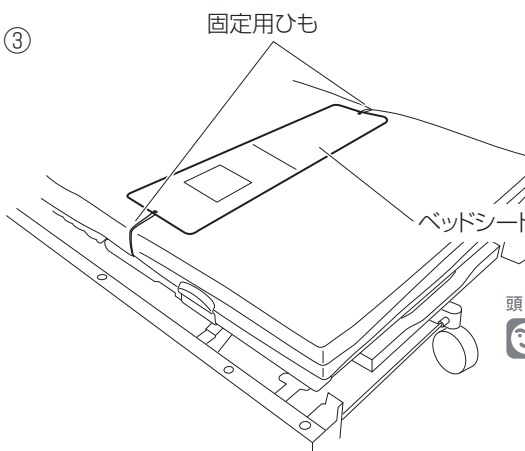
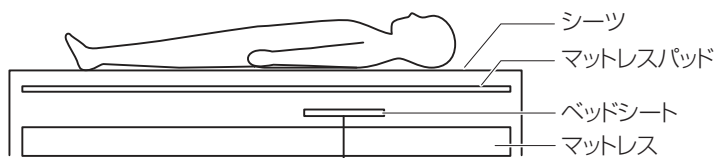

けい
警告
こく

- ベッドシートは正しい向きで使用してください。通知が正しく行われぬおそれがあります。
- ベッドシートの上にものを置かないでください。通知が正しく行われぬおそれがあります。

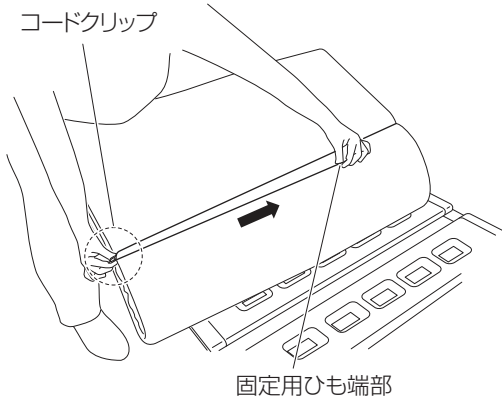
※背があがるベッドなどを使用する場合で説明しています。背があがらないベッドや敷布団などを使用している場合は、固定用ひもを予め外してから設置することも可能です。



- ベッドメイキングなどによりマットレスを移動する場合は、ベッドシートの位置がずれたり、落下したりしないように注意してください。
- マットレス上にものが載っている場合は、一度マットレスから降ろしてください。

- ① マットレスを頭側から1/3くらいまでめくってください。
- 
- ② 設置時の向き（下図③参照）に注意してベッドシートの固定用ひもを、図のようにマットレスに引っ掛けてください。
- 
- ③ 一度マットレスを元に戻し、ベッドシートが使用者の肩から腰の位置になるように調整し、マットレスの幅方向の真ん中付近に設置してください。
- 
- 
- 次ページへ続く
- 

④



④図のように、片方の手で固定用ひものコードクリップ部を持ち、もう片方の手で固定用ひもの端部を引っ張り、ベッドシートをしっかりと固定してください。

※コードクリップは、マットレスの側面に出るように固定してください。

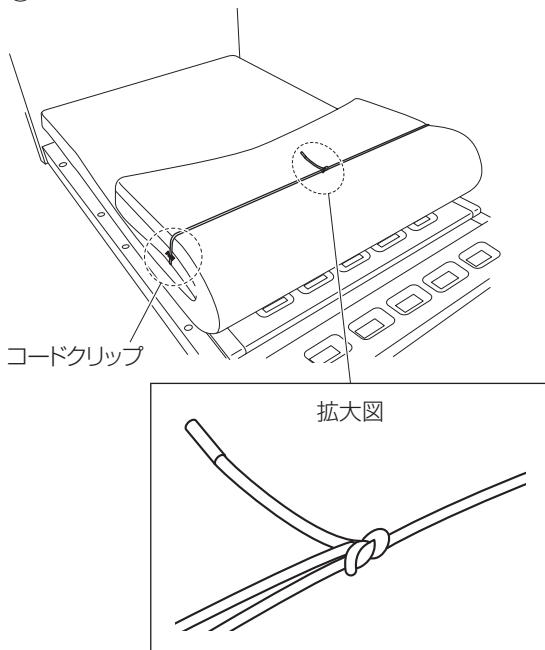


マットレスの端を持ち上げて軽くゆすり、ベッドシートがずれないことを確認してください。

注意

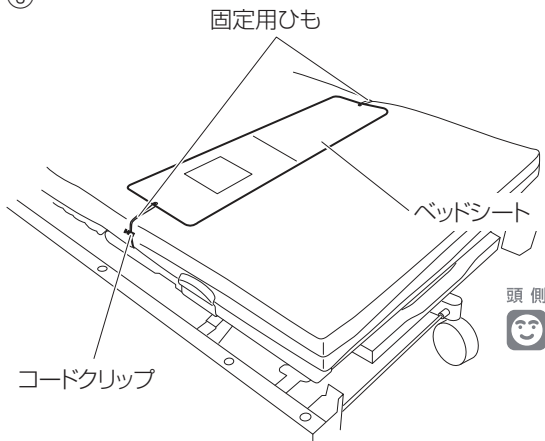
固定用ひもを強く締付け過ぎないようにしてください。ベッドシートやマットレスが破損・変形するおそれがあります。

⑤



⑤固定用ひもを引っ張った後、余った固定用ひもの端部が垂れさがらないように、固定用ひもに巻きつけてください。

⑥



⑥マットレスを元の状態に戻し、ベッドシートの位置を確認して、ずれている場合は固定用ひもの位置を調整して、適切な位置にベッドシートを設置してください。

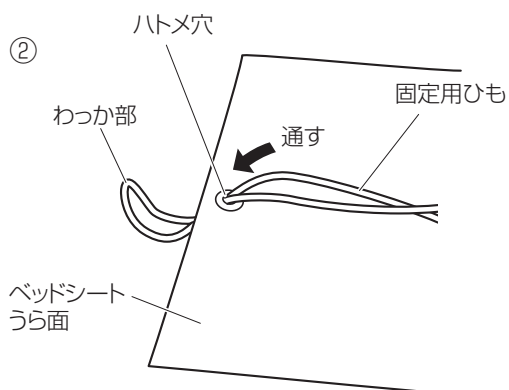
注意

固定用ひもを強く引っ張らないでください。ベッドシートやマットレスが破損・変形するおそれがあります。

7 設置方法

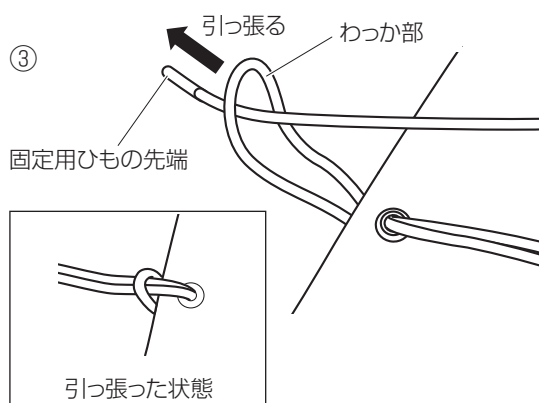
■固定用ひもの取付けかた

ベッドシートから取外した固定用ひもを付け直す場合は、下記を参照して固定用ひもをベッドシートに取付けてください。

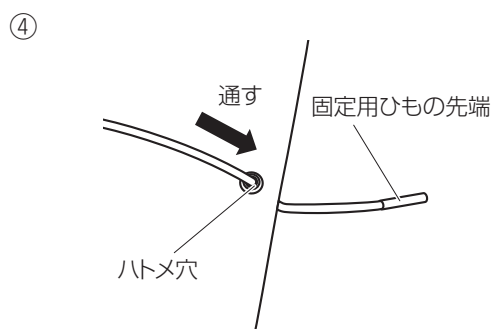


①ベッドシートを裏返しにして、平らな場所に置いてください。

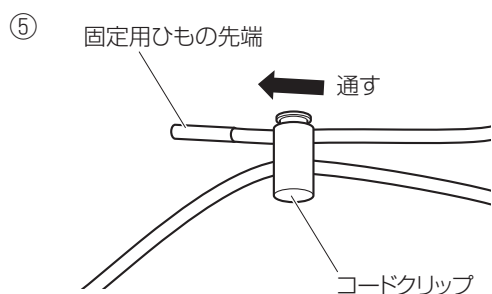
②固定用ひものわっか部側を、ベッドシートの端にあるハトメ穴に図のように通し、固定用ひものわっか部を5cm程度出してください。



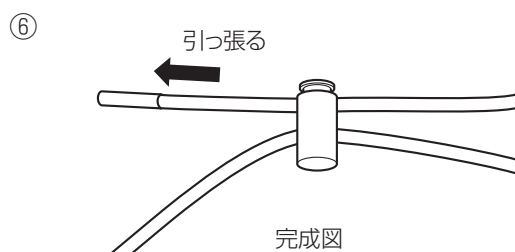
③固定用ひもの先端をわっか部に通し、固定用ひもを引っ張ってください。



④固定用ひもの先端を、ベッドシートの反対側にあるハトメ穴に通し、固定用ひもの先端部分を30cm程度引っ張りあげてください。



⑤固定用ひもの先端をコードクリップに通してください。



⑥固定用ひもの先端を引っ張って、適切な長さに調整してください。

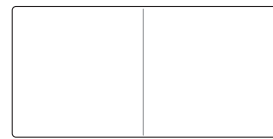
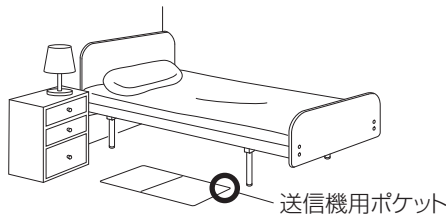
※固定用ひもを取外す場合は、逆の手順で行ってください。

■フロアシートの設置



- フロアシートは正しい向きで使用してください。通知が正しく行われぬおそれがあります。
- フロアシートの上にものを置かないでください。通知が正しく行われぬおそれがあります。

- ①フロアシートのうら面（使用方法記載面）を下にして、平らな面に置いてください。
- ②使用者の行動パターンに応じて、ベッド横や居室の入口などに設置してください。
※設置の際は、送信機用ポケット部分が、ベッド側や壁側に来るように設置してください。
- ③設置時にフロアシートが容易に滑らないことを確認してください。



フロアシート

8 設置後の点検方法



- 見守りSENSEを設置した後は、点検を行ってください。通知が正しく行われぬおそれがあります。
- 点検作業中に異常が生じた場合には、すぐに見守りSENSEの使用を中止し、パラテクノコールセンター（30ページ参照）までご連絡ください。

ベッドシート・フロアシートの設置が完了したら、ご使用になる前に下記の点検表に従って見守りSENSEの動作点検を行ってください。

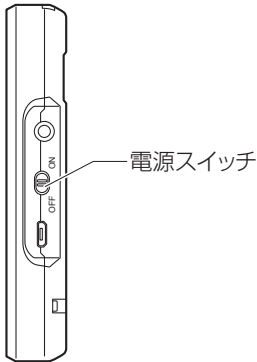
点検項目	チェック	
①周辺温度の確認 ・ベッドシート・フロアシートの周辺温度は5～40℃ですか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →29ページ
②見守りSENSEの設置 ・ベッドシート・フロアシートの上にものが載っていませんか？ ・背があがるベッドなどを使用する場合、ベッドシートはマットレスに固定されていますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →19～20・22ページ
③送信機の登録 ・受信機に送信機を登録しましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →13ページ
④動作の確認 ・ベッドシートの場合 1. 送信機のモード切換スイッチが“センサ”、シートの切換スイッチが“ベッド”となっていることを確認してください。 2. 手でベッドシートを押して離し、受信機のアメロディが鳴る・振動する、またはナースコールに通知されることを確認してください。 ・フロアシートの場合 1. 送信機のモード切換スイッチが“センサ”、シートの切換スイッチが“フロア”となっていることを確認してください。 2. 手でフロアシートを押して、受信機のアメロディが鳴る・振動する、またはナースコールに通知されることを確認してください。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →18・23ページ

9 使用方法

見守りSENSEの使いかた



- 見守りSENSEを使用する前には、26ページの「11. 日常の点検とお手入れ」の点検を必ず実施してください。
- 受信機の操作が20秒間行われない場合、ディスプレイを消灯します。



受信機横面

ヨビダシ
101 ヤマダ

通知画面

0 フンマエ 01
101 ヤマダ

履歴確認画面

【使用の手順】

- ①受信機の電源スイッチをONにしてください。
- ②使用者の動きに応じて送信機から検知信号を送信し、受信機で通知を行います。
 - ・ベッドシートの場合
ベッドシート上から人が起きあがったタイミングで、検知信号を送信します。検知時間を設定している場合は、起きあがったタイミングと送信機が検知信号を送信するタイミングが異なります。(11ページ参照)
 - ・フロアシートの場合
フロアシート上に人が乗ったタイミングで、検知信号を送信します。
- ③受信機が通知を受けて、登録した文字をディスプレイに表示し、メロディ／振動で通知します。
 - ※メロディ／振動での通知は1分間続きます。
 - 1分経過後は、メロディ／振動は停止し、ディスプレイが点滅し続けます。
- ④受信機の停止ボタンを押すと、ディスプレイの表示が消え、メロディ／振動が停止します。
停止ボタンを押した後は、待受画面に戻ります。

【履歴の確認】

- 受信機が待受画面の状態、音量ボタン／振動ボタンを押すと通知履歴が確認できます。
- ※新しい通知から20件分の履歴を確認することができます。
 - ※履歴の表示は、「■送信機の登録」で入力した文字が表示されます。

デンチギレ
101 ヤマダ

【送信機の電池残量低下のお知らせ】

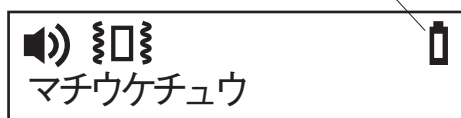
送信機の電池残量が低下している場合、受信機に電池残量低下のお知らせを表示します。

その際は、送信機の電池がなくなる前に、下記の手順で電池の交換を行ってください。

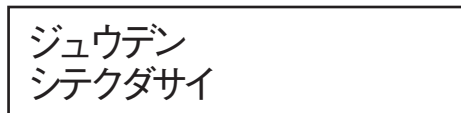
※電池残量低下のお知らせは、電池交換が行われるまで表示します。

- ① ベッドシート・フロアシートの送信機用ポケットを開け、送信機を取出してください。
- ② 送信機の電池カバーを取外し、電池を取出してください。
- ③ 電池の極性に注意して、送信機に電池を入れてください。
- ④ 送信機の電池カバーを取付けてください。
- ⑤ 「■送信機の設置」(18ページ参照)の手順に従って、送信機をベッドシート・フロアシートに入れてください。

お知らせマーク



待受画面



要充電画面

【受信機の充電残量低下のお知らせ】

受信機の充電残量が低下している場合、待受画面で充電残量低下のお知らせマークを表示します。

充電残量がさらに低下し、充電が必要になった場合には「ジュウデンシテクダサイ」と表示します。

充電残量低下のお知らせマークまたは、「ジュウデンシテクダサイ」と表示された場合は、電源ケーブルを用いて、受信機の充電を行ってください。(11ページ参照)



- 送信機の電池や受信機の充電電池は、使用環境や使用頻度によって、寿命に差が出ることがあります。
- 長時間使用しなかったとき、充電と使用を何度か繰り返すことにより、十分充電される場合があります。

10 オプションについて



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- 本書記載のオプション以外は使用しないでください。通知が正しく行われぬおそれがあります。



仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

オプション一覧

品名	品番	内容物
ベッドシート	NN-3011	ベッドシート
フロアシート	NN-3021	フロアシート
受信機	NN-3041	受信機
送信機	NN-3061	送信機
電源ケーブル	NN-3071	ACアダプター、USBケーブル
送信機（電源ケーブル付）	NN-3081	送信機、ACアダプター、USBケーブル
ベッドシート（送信機付）	NN-3111	ベッドシート、送信機
フロアシート（送信機付）	NN-3211	フロアシート、送信機

※送信機は受信機1台につき複数台（最大80台）登録が可能です。

※オプションのベッドシート・フロアシートを購入された場合は、「8.設置後の点検方法」（22ページ参照）を必ず実施してください。

■送信機の中継モードについて

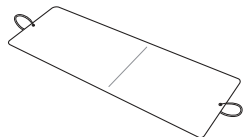
送信機を中継モードにして受信機と送信機の間設置することで、通信の中継が可能になり、受信機をご使用いただける範囲を拡大することができます。

※受信機と送信機の間設置できる中継モードの送信機は1台のみです。

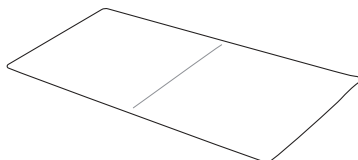
※中継モードとして使用する場合は、別途で送信機（NN-3061：別売）と電源ケーブル（NN-3071：別売）が必要となります。

- ①中継モードとして使用したい、送信機の電池を外してください。
- ②「6. 設定方法」の「■受信機・送信機のチャンネル設定」（12ページ参照）に従って、送信機のチャンネル設定を行ってください。
- ③送信機のUSBコネクタに電源ケーブルを接続してください。
- ④送信機のモード切換スイッチを「中継」にしてください。
- ⑤送信機を通信距離を延長したい場所に設置してください。

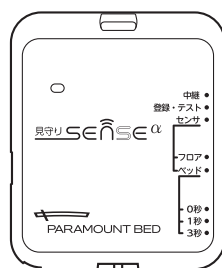
ベッドシート
（送信機内蔵）



フロアシート
（送信機内蔵）

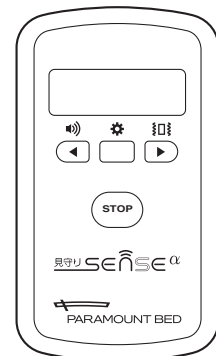


送信機（NN-3061：別売）
（中継モード）



電源ケーブル
（NN-3071：別売）

受信機



11 日常の点検とお手入れ

■点検

<使用者による保守点検事項>

見守りSENSEを使用する前に、下記の点検項目をチェックして、異常のないことを確認してください。異常が認められた場合は、パラテクノコールセンター（30ページ参照）までお問い合わせください。

点検項目	
設置条件に従い、正しい位置に設置されていること	※18～22ページ参照
検知と通知が正しく機能していること	※23ページ参照
見守りSENSEが破損・変形していないこと	※3ページ参照

■日常のお手入れ

<汚れの落としかた>

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

<消毒のしかた>

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	0.05～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	0.05～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒジテンなど）	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	0.02～0.05%



●オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。



- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

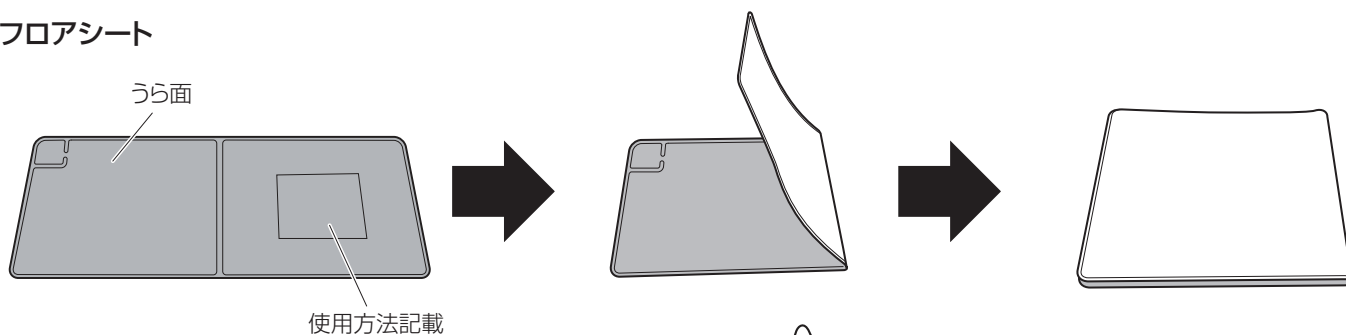


12 長期保管と廃棄について

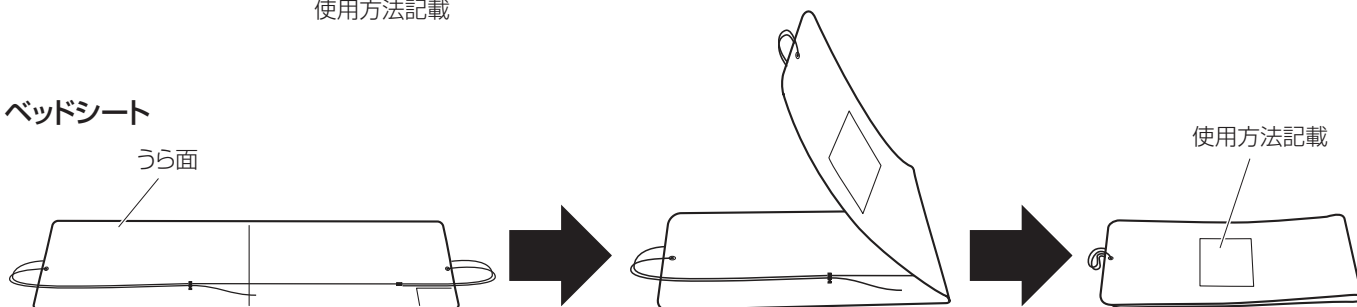
■長期保管について

- 直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 温度-10～50℃、湿度0～90%RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書および付属部品は紛失しないよう、大切に保管してください。
- ベッドシート・フロアシートは折りたたんで保管することができます。折りたたむ場合は、必ず下図のように折りたたんでください。

フロアシート



ベッドシート



保管する際は、下記の事項に注意してください。見守りSENSEが破損・故障するおそれがあります。

- 重いものを載せたり、力がかかったりする状態で保管しないでください。
- ベッドシート・フロアシートを折りたたむときは、指定の方向で折りたたんでください。
- 送信機は取外した状態で保管してください。

■廃棄について

- 廃棄する際には、各自治体の指示に従ってください。

13 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- 処置をしても正常に動作しない場合はすぐに使用を中止し、パラテクノコールセンター（30ページ参照）までご連絡ください。

症状	チェック	処置	参照ページ
使用者が起きあがり・離床・徘徊などの動作をしているのに通知しない	受信機の電源が入っていますか？	受信機の電源を入れてください。	23
	受信機の充電が切れていませんか？	受信機を電源ケーブルで充電してください。	11・24
	送信機の電池が消耗していませんか？	送信機の電池を交換してください。	24
	送信機の設定・設置が正しくされていますか？	送信機の設定・設置をやり直してください。	11～12 ・18
	送信機の電波が受信機まで届いていますか？	送信機と受信機の間には障害物がないか確認してください。	7・17
	ベッドシート・フロアシートの上にもものが載っていませんか？	ベッドシート・フロアシートの上から、ものを取り除いてください。	7・19・22
	ベッドシートがずれていませんか？	指定する位置に設置されていることを確認してください。背があがるベッドなどを使用する場合、本取扱説明書を参照してベッドシートをマットレスに確実に固定してください。	19～21
受信機が送信機の電波圏外に来ていませんか？	受信機を送信機の電波範囲内でご使用いただくか、送信機（25ページ参照）をお買い求めいただき、送信機の中継モードをご利用ください。	7・25	
使用者が起きあがり・離床・徘徊などの動作をしていないのに通知する	ベッドシートがずれていませんか？	指定する位置に設置されていることを確認してください。背があがるベッドなどを使用する場合、本取扱説明書を参照してベッドシートをマットレスに確実に固定してください。	19～21
	受信機の充電残量が低下していませんか？	受信機を電源ケーブルで充電してください。	11・24
	送信機の電池が消耗していませんか？	送信機の電池を交換してください。	24

14 仕様

製品構成

品名		品番			
		NN-3121	NN-3131	NN-3221	NN-3231
構成	ベッドシート	○	○	-	-
	フロアシート	-	-	○	○
	受信機	○	○	○	○
	送信機	○	○ (2台)	○	○ (2台)
	電源ケーブル	-	○	-	○

※受信機には電源ケーブルが同梱されています。
 ※ベッドシート、フロアシート、受信機、送信機、電源ケーブルにはそれぞれ個別に保証書が同梱されています。

ベッドシート・フロアシート仕様

品名		ベッドシート	フロアシート
品番		NN-3011	NN-3021
寸法(cm)		28 × 78 × 0.8	50 × 100 × 0.6
製品質量(g)		600	780
主な材質		PVC	
最大使用者体重(kg)		138	
環境条件	運送時 保管時	温度(℃)	-10 ~ 50
		湿度(%RH)	0 ~ 90
	使用時	温度(℃)	5 ~ 40
		湿度(%RH)	45 ~ 85

受信機・送信機・電源ケーブル仕様

品名		受信機	送信機	電源ケーブル
品番		NN-3041	NN-3061	NN-3071
寸法(cm)		10.5 × 6 × 1.8	8 × 6.7 × 1.5	ケーブル長さ 102
製品質量(g)		100	55	65
電源		充電池 (ニッケル水素電池) 電源ケーブル(5V/1A)	単4電池 (1本) 電源ケーブル (5V/1A)	-
主な材質		ABS		
環境条件	運送時 保管時	温度(℃)	-10 ~ 50	
		湿度(%RH)	0 ~ 90	
	使用時	温度(℃)	5 ~ 40	
		湿度(%RH)	45 ~ 85	
周波数		920MHz帯 (3波)		-
最大使用者体重(kg)		-	138	-
通信距離		-	見通し100m	-
耐用年数		5年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く		

15 アフターサービスについて

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼される時

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、ロットNo.表示ラベルの番号、製品表示ラベルの番号（位置は4～5ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- ベッドシート・フロアシート・受信機のバッテリーは消耗部品です。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後5年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639 受付時間：平日 8:00～19:00

土・日・祝日 9:00～17:20（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111 (大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181 (代)
仙台支店	〒980-0013	仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階	☎(022)217-7311 (代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131 (代)



PARAMOUNT BED